

はらむら



議会だより

第112号

平成25年2月8日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



原村成人式

- 12月定例会…………… 2
- 委員会報告…………… 4
- 先進地視察報告…………… 6
- 一般質問…………… 8
- 中学生議会…………… 11
- 議会日誌…………… 12

■平成24年■
第4回
定例会

12月定例会

平成24年第4回定例会は12月3日から20日まで18日間で開催された。

平成24年度一般会計補正予算案など村長提出議案17件及び委員会提出議案2件を審議した。

◎一般会計補正予算(第4号)

(内容) 既定の歳入歳出の総額にそれぞれ5千359万1千円を追加し、39億3千636万3千円とするもの。

- ・公益財団法人農村更生協会(八ヶ岳中央農業実践大学校)より3万1千991平方メートルの土地購入費3千705万円を計上。
- ・防火貯水槽撤去工事費用127万1千円を計上。
- ・小学校管理棟工事(耐震化)の測量・設計・管理委託料250万円を計上。

◎原村と「広域5市町」間の

証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部を改正。

(内容) 現在6市町村で広域証明発行事務を行っているが、平成25年2月1日より「現在戸籍証明」を追加するもの。

◎国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

(内容) 既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ5千149万9千円を追加し、10億2千694万8千円とするもの。

◎後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

(内容) 既定の歳入歳出予算の総額に32万1千円を追加し、6千932万1千円とするもの。

反対討論

・制度として認められないので。

賛成討論

・広域連合で支えている高齢者にとって唯一の保険である。

◎暴力団排除条例

(内容) 暴力団の排除について、基本理念を定め、村民の安全で平穏な生活の確保及び社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とする。

◎職員の再任用に関する条例

(内容) 地方公務員法等が改正された。これに伴い「原村職員の定年等に関する条例」等の再任用職員の勤務条件等の条例を改正するもの。

◎敬老年金条例の一部を改正する条例

(内容) 年金「満87歳までの者は5千円、満88歳以上の者は8千円」を、祝い金「満77歳の者及び満80歳の者に5千円、満88歳の者に1万円、満99歳以上の者に2万円」に改めるもの。

反対討論

・年金を支給するのが良い。今までもらっていたものが変わり、節目だけになる。

賛成討論

・全体でみて、老人医療費の伸びも大きい。若者からお年寄りまでの公平感を考えるとやむを得ない。

陳情の審議

陳情と結果は次の通りです。

◎私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情

陳情者

中信地区私学助成推進

協議会

会長 福澤 奈都子

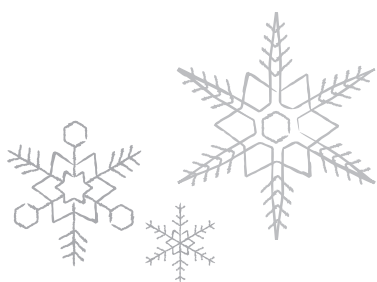
「賛成少数で不採択」



平成24年第4回定例会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議 案 名 等	議 員 名										審 議 結 果
		小池 和男	宮坂 早苗	鮫島 和美	木下 貞彦	小池 利治	矢島 昌彦	小平 雅彦	長谷川 寛	日達 徳吉	小林 庄三郎	
《村長提出》												
承認第5号	専決処分承認を求めることについて (平成24年度原村一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第42号	長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	原村と岡谷市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第44号	原村と諏訪市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第45号	原村と茅野市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第46号	原村と下諏訪町との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	原村と富士見町との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	原村税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	原村暴力団排除条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	原村職員の再任用に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第51号	原村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	原村敬老年金条例の一部を改正する条例について	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	平成24年度原村一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	平成24年度原村国民健康保健事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	平成24年度原村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	平成24年度原村有線放送事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第57号	平成24年度原村水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
《議員提出》												
発委第1号	原村議会委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発委第2号	原村議会会議規則の一部を改正する規則について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



お詫びと訂正のお知らせ

平成24年11月8日発行「はらむら議会だより」第111号中『原村教育委員会委員になられました』の、お名前「森山孝典さん」は「森山高典さん」の誤りでした。お詫びするとともに、訂正いたします。

報告

総務産業常任委員会

委員長 小平雅彦

平成24年度一般会計補正予算、条例の改正など11議案を審査し、全議案とも全会一致で可決すべきものと決定した。

◎諏訪6市町村間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託規約の改正

・平成25年2月より戸籍証明がどこの市町村でも発行できる。

・住民の利便性が高まることは評価できるが、安全性の確保、本人確認証明等必要事項の周知が必要である。などの意見があった。

◎原村暴力団排除条例

・村民の安全で平穏な生活と、社会経済活動の健全な発展を実現するため地域社会が一体となって暴力団の排除を推進することが不可欠となる。このため村民、事業者の責務や暴力団の排除に関する施策の基本となる事項を明確にするもの。

◎24年度原村一般会計補正予算

・借地に設置した、防火貯水槽の撤去に要する費用。

・現在借地となっている公益財団法人農村更生協会（八ヶ岳中央農業実践大学校）の土地の購入などが主なもの。

・購入予定地の大部分は、自然文化園のマレットゴルフコースととなっている山林部分とともに、八ヶ岳自然文化園事業の充実を図るため活用する。などの説明があった。

・八ヶ岳自然文化園の借地が購入が出来ることは良かった。林地部分も植生等環境を考慮した整備を行い、活用についても自然文化園事業の将来方向を考えた検討を要望したい。などの意見があった。借地による防火貯水槽設

置は、移転による撤去、再設置費など負担が大き、村有地として購入の検討が必要ではないか。との指摘があった。

事務調査報告書

委員会での課題について事務調査を実施した。

◎まきステーション

村産木材活用希望者が参加し、木材により3棟が設置された。平成25年の冬期より村産木材を利用者に提供し、その10%相当をまきステーションに提供していただき、サステイナブルハウス等で活用するもの。エコビレッジ

構想の推進と間伐材等の有効利用バイオエネルギー活用の拡大につながることを期待したい。



八ヶ岳自然文化園購入予定地

◎八ヶ岳自然文化園購入予定地
まるやち湖東側山林隣地部分はカラ松、赤松等で間伐など環境整備が必要。

以前からの課題で、購入につながったことは評価できる。自然環境を活かして、八ヶ岳自然文化園事業の充実につながるよう要望したい。

委員会

社会文教常任委員会

委員長 長谷川 寛

条例改正、24年度補正予算を審査し、全議案とも可決すべきものと決定した。

◎一般会計補正予算 (全会一致)

・小学校、管理棟部分の階段壁、トイレ改修、図書室等の天井耐震化を目指し、来年度工事予定。

・国保会計への繰出金。

・村単事業の老人医療費特別給付金、不足見込み分。後期高齢者会計拠出金など。

・道路維持補修や新設に伴うもの。

◎敬老年金条例の一部改正 (賛成3 反対1)

・年金を支給するのが良い。今までもらっていたものが変わり、節目だけになる事に反対。

・若者からお年寄りまでの公平感を考えるとやむを得ないので賛成。との討論があった。

◎国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (全会一致)

・実態に伴うもので止むを得ないが、医療給付費について分析検討し、対策改善を図ってもらいたい、との意見があった。

◎後期高齢者医療特別会計補正予算 (賛成3 反対1)

・市町村の広域連合への負担金確定に伴うもの。

・制度として認められない立場なので反対。

・広域連合で支えている高齢者にとって唯一の保険であり、補正するのは当然との賛成討論があった。

◎水道事業会計補正予算 (全会一致)

・職員1名増員によるもの。

陳情

◎私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書賛成少数で不採択すべきものとする。

(賛成1 反対3)

・原村からの補助は適切ではない。陳情の文章から取り上げることはできない。

・問題の文章もあるが、私学に対する助成は必要であり、採択すべき。との討論があった。

◎安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書「継続審査」



校庭リンク

視察報告

総務産業常任委員会

委員長 小平 雅彦

11月7日～9日にかけて、埼玉県小川町の「地域内資源循環」、千葉県大多喜町の「農産物直売所」、山梨市の「新エネルギー対策」など原村の行政課題について視察した。

小川町の地域内資源循環

町の「環境基本計画」に基づき「自然エネルギーの活用と地域資源循環」推進実行組織が設立され、家庭の生ごみを回収しバイオガス、液肥とし有機農業に利用し、環境にやさしい、資源循環型の町づくりを進めている。

○概要

・参加世帯

生ごみを収集日に運搬用容器に移し指定場所に搬出。(現在約500戸が参加、日量約250kgが持込まれる)

・小川町

生ごみの回収と「生ごみクーポン券」の管理、野菜交換会の調整。

・「生ごみクーポン券」生ごみ提供世帯に地域通貨として発行、地場産野菜などと交換することが出来る。

・NPO法人ふうど(ごみの減量化実行組織が法人化したもの)バイオマスプラ

ントの管理(生ごみの投入、バイオガス・液肥の管理)ガスは農耕用エンジンに、液肥は有機肥料として活用。

小川町は、有機栽培生産集団と連携循環型社会の確立、農産物のPR、販路拡大など有機農業による町づくり積極的に取り組んでいる。

大多喜町の駅「たけゆらの里おおたき」

「たけゆら」とは、竹遊楽(竹で楽しく遊ぶ)の意で、竹で有名な町ならではのネーミング。

○運営状況

指定管理者(農産物直売組合)が運営、組合員218名、社員21名、売り上げ約3億円、顧客数約35万人。

※出品物

・米、たけのこ、椎茸、野菜、果物、山菜など農産物。

・酒、豆腐、ジャム、漬物、餅、アイスクリーム、などの加工品。

・竹細工など手芸品。
・たけのこカレー、いのしし丼、そばなど郷土食。

タケノコの産地だけにイノシシ、鹿の被害に頭をいためていたが、食肉加工施設が併設されイノシシの食肉加工品が人気のメニューとして特産物化しイノシシの駆除と売り上げに貢献している。

○運営上の留意点として次の点を指摘していた。

・安定経営には地元重視が重要、利益を町、地域にいか還元するかが長続きの秘訣。

・特徴のあるみやげもの、特産物等のブランド化。

・従業員の経営参加、商品販売意識の徹底。

・設計内容は実際に携わる者が細かく検討する(業者、行政まかせにしない)。

・加工品は専門メーカーの商品と対抗となり売れない。

山梨市の新エネルギー対策
○エコハウスやまなし

健康で快適に生活できるよう配慮された環境、モデル住宅、「自然・再生可能エネルギーの活用」「エコライフスタイル」などのテーマを課題としている。

次世代エネルギーを理解するための環境学習、持続可能なモデル社会の構築を目指している。サステイナブルハウスの理念によるもので、ペレットストーブ、太陽光発電、省エネ照明、全館熱気システムなどが実感できる設計となっている。



道の駅「たけゆらの里おおたき」

社会文教常任委員会

委員長 長谷川 寛

先進地

10月23日～25日にかけて、富山県中新川郡上市町、岐阜県安八郡輪之内町、大野郡白川村の資源物常時回収施設、こどもの城、世界遺産のある白川村の景観条例について視察した。

上市町

○資源物常設ステーション
ISO14001を取得し、環境基本計画により、循環型社会の形成を目指している。

資源ごみの収集は地区ごと月に2回の決められた日に持つて行けないなどの対応で、常設の資源物ステーションを設置している。

実際には、町のストックヤード敷地内にプレハブ物置型のを、品目ごとに6棟つながつて建てる形式で、原村の藤尾根湖にある物と変わらない。

となりの清掃公社の職員が、点検・管理できる体制であるところが、施設が約130万円と安くできた理由である。

いつでも誰でも持ち込めるということでいい加減な出し方を危惧したそうだが、監視カメラ設置と、毎日の清掃で、きちんと出されている。

○上市町こどもの城

木造の暖かみのある建物でそれぞれの目的別に子どもが楽しめるような部屋があり、乳幼児から、小中高校生、大人まで利用できる施設になっている。

2億円余りの建設費で、子育て支援、児童館として、参考になる建物であった。

○輪之内町エコドーム

人口9千746人で、居住面積は原村の半分ほど。

平成14年オープン。今ではここを見本とした取り組みが広がっている。

「NPO法人ピープルズコミュニティ」が、生ごみ収集運搬処理、エコドーム管理運営、貸農園管理、などの業務を営む。

「輪之内町から生まれたゴミは輪之内へ」をモットーに「輪之内町女性会議」を母体に生まれたこのNPOと、行政が足並みを揃えて、子ども達への環境

教育も担っている。
10年経過して、利用者も慣れ、生ごみ処理機も問題なく稼働。

○白川村景観条例について

1976年重要伝統的建築群保存地区。95年世界文化遺産に登録。
「日本一美しい村であること」を目標に、景観法に基づき、保全している。

東海北陸自動車道の開通は、集客に効果があるが、通過観光地になるジレンマもある。

観光客が押し寄せ、駐車場の問題や、土産物屋、食堂などの業態と、景観の矛盾。重点景観形成地区と他地区の格差など、問題点もある。

その他、屋根の色は茶色に統一で、住民の条例を守る意識はたかい。反面、村外からの開発圧力は高く、規制は大変である。等の説明があった。

○白川村リサイクルハウス

平成17年より村直営。資源物を集中して回収し、持ち込みも、基本的なものは無料で常時受け入れてい

る。
拠点回収も行い、資源物はここで分別。職員1名、業者1名、その他パート数名。

資源物常時回収施設には、様々な方法があり、拠点回収との併用で、すべての資源物に対応するもので、それぞれが知恵を絞っていた。



輪之内町エコドーム

質問

人・農地プランの推進方向は

小平 雅彦



原村全体を 単位として策定する

(質問) 平成25年度予算編成に対する重点施策展開は、「村長」24年度重点施策に加えて、地域循環経済の向上、住宅リフォーム、太陽光発電システム支援に力を入れる。子育て支援、福祉対策、各種振興施策は引き続き進めていく。

(質問) 持続可能な農業の実現を推進するための「人・農地プラン」の推進方向は。また、農業委員会の活動は。「村長」平成24年度は、青年農業者5組に就農支援金を支給した。今後は、農業団体や農業者の代表など10名程度でプラン検討委員会を設置し、原村全域を単位とした農地の集積、経営規模拡大、担い手育成を図るためのプランを策定する。

「農業委員会長職務代理」地域農業の振興と柱となる経営体の支援、農業後継者が安定した経営ができるしくみづくりを進める。

(質問) 公共施設、防犯灯などのLED化の推進方針は。「村長」省エネなどへの配慮

村としても 「TPP参加反対」 の動きを

鮫島 和美

村も各方面で 動いている



(質問) TPPに参加した場合、それは住民の生活にどう影響すると考えるか。

「村長」TPPに参加すれば、その影響は農産物、商品、サービスなどすべてに及ぶ。国の仕組みや基準にまで踏み込んで私たちの生活を一変させることになり、これは容認できない。

(質問) 「容認できない」のなら、村としても一歩進んだ反対の行動を起こすべきではないか。

「村長」村では農協が反対決議、運動をしている。また、全国町村会ではいち早く反対ののろしを上げていたので、それで良いのではないかと。

(質問) 「サステイナブルハウス」と「農産物加工所」の建設に伴う村の負担、両施設の維持管理についてどう考えるか。

「村長」事業費だけ問題にされているが、この事業は、1億円は国から交付されるから、村費1億

は重要と考えるが、経費がかかるので徐々に進めていく。防犯組合ではLED化の新設、修繕に対する補助金を交付し推進を図っている。国、県などの補助、交付金などで対応出来るものは対応していく。太陽光発電推進のための補助施策、環境に優しい村づくり、エコビルツジ構築に向けさらなる研究、検討を進める。

円を使って2億円の仕事をやるものである。「エコヴィレッジ構想」に基づいたエネルギー自立のモデルハウスと農産物加工所の建設は住民の所得向上、福祉につながる。

(質問) 住民から「建設計画」に対する疑問や不安が多く出され、時がたつにつれて反対の声も高くなっている今、「計画」を凍結し、住民の意見に十分耳を傾けるべきではないか。

「村長」いろいろな意見がある中で説明会を開いても泥沼にはまるだけだ。「計画」についてはよく考えて進みたい。「計画」から撤退する場合は住民説明会は開かない。「計画」を先に進める場合は説明会を開く。



弘沢上フラワー団地の 分譲の見込みは

木下 貞彦

約3年で完売目標に
している



「課長」福祉医療、子育て支援の施策、若者定住の補助金、太陽光補助金、この4項目を主眼として、パンフレット、広告を製作しているところである。

「副村長」昨年6月から全16区画の分譲を開始し、これまで4件の販売が完了した。引き合いが何件かあるので期待したい。前回売り出した久保地尾根の住宅団地は約3年で完売。この辺を別途に3年ぐらいを一つの目標として考えている。分譲価格は、坪7万1千282円から7万8千789円であり、民間と違うのは、下水道の受益者負担金の約13万円が土地代に含まれている。PRの方法は、村のホームページ・有線放送・新聞・雑誌等やチラシ配布などで行っている。

「質問」カラスの駆除対策について。原村の被害状況は。またカラス小屋の管理は補助金制度では難しいと思われる。委託は考えられないか。
「村長」長野県での鳥類被害額は平成22、23年度では約それぞれ2億1千万円超となっている、当村では、22年度では83万円、23年度では74万円となっている。カラス小屋による駆除は以前は、中新田区、八ツ手区、農場区で実施していたが平成21年度に中新田区が実施したのを最後に、現在は行われていない。6万円の管理費の2分の1、3万円の補助金を予算化している。地元管理は困難だが、自分達の生活環境や農作物は自分たちで守るといふ民度の向上に期待するしかない。



「質問」危険なオスプレイが長野県も飛行訓練ルートに入っている。この飛行機の任務は海兵隊員を戦闘地へ輸送することと補給物資の輸送だとされている。戦争や紛争時、米軍が前線に基地を作り、弾薬や燃料を支援するということ。オスプレイは海兵隊が主に使用している飛行機で、海外で配置しているのは日本の沖縄だけである。この飛行機は事故が多発している。しかしアメリカは、事故はパイロットの人為的ミスで、

オスプレイ飛行訓練 ルートについて

小池 利治



知事の見解どおり、
それ以上はない

機体は問題ないとして、日本に運用を求め、日本政府はそれを鵜呑みにしている。このオスプレイの配備に対して、沖縄県民は党派を超えて強い反対の意見を出している。日米同盟は重要という沖縄県知事ですら、日米安保条約や日米地位協定で米軍が何でも持ち込めるというのは信じがたいと強く抗議している。アメリカ政府は、配備は日米安保条約上の権利だと公言。日本政府は条約上の権限のない日本政府がどうしろこうしろという話ではないと言っている。結局日米両政府が安保条約を盾にオスプレイ配備を強引に押し付けている。まさに日米安保条約の是非を問うときにきている。長野県知事も構造上の欠陥がないことを確認すること政府に求めている。こうした危険なオスプレイの飛行訓練についてどう思うか。「村長」阿部知事は防衛局を通じて、県の意見を再三伝えていく。これ以上のことを言うことも、感想を持つこともできない。

若者チャレンジ支援 補助金制度について 宮坂早苗

個人の創業支援補助金を 検討してもよい



〔質問〕若者たちの起業や研究に対する費用の支援について、イベントやマルシェへの参加、産業や工業環境などの見本市における商談会への出展費用、交通費などの経費。新たな分野への挑戦や、再就職のための資格取得など、育児中の男女含む、次世代の若者た

ちが元気に活躍、活動できるように、支援補助金制度をもうけたらどうか。

「村長」若者たちの創業支援について、考えないでもないが、必ずしも若者と限らず、個人が創業しようということに対して、創業支援補助金を検討してもよい。

〔質問〕ヒートポンプ設置補助金制度を設けてはどうか。原村は、エネルギー自立に取り組む村として、環境に負荷をかけずに、自然や景観を保存し、当村が保有する資源を有効活用して住民、事業者、村が一体となつて持続可能な村づくりをするといっている。

ヒートポンプは、ほぼ無限に存在する地中熱や空気熱、地下水を、温度の低いところから高いところへ、熱の受け渡しを行い、エネルギーとして利用する。EUでは地中熱や空気熱は太陽起源の再生可能エネルギーとして積極的に導入、普及を行っている。新築住宅や検討の始まる公共施設、既存の住宅、農業施設、商業

議会報告・懇談会

11月13日～14日の日程で、議会報告・懇談会を2会場（室内公民館、八ッ手公民館）で開催した。

議会活動の報告と村民の皆様よりのご意見・ご要望をお聞きする目的で開催し、平成19年10月の初回開催より通算で23回目となった。

平成23年度一般会計決算審査などについて、総務産業常任委員会、社会文教常

施設など、地域にあった様々なエネルギーを組み合わせ、CO₂排出量ゼロへの政策へと行動をしたらどうか。

「村長」先進的な取り組みとして、地中熱ヒートポンプのあることは承知している。しかし、まだまだ先をいつている技術で、補助金制度をつくるには、時期が早すぎる。

任委員会の各委員長より報告した。

懇談会で頂いた主なご意見・ご要望は

- ・道路への「グリーンライン」の設置
- ・鳥獣被害への対応
- ・区内街灯のLED化への対応

・サステイナブルハウス・加工所等の村民への説明会開催要望などです。頂きました課題は、各常任委員会の審査の中で調査し、対応させていただきます。



懇談会

中学生議会

10月15日、第14回中学生議会が原村議会議場で開催された。

原中学校3年生74人が参加。6人が質問をし、中澤みなみさん、宮坂蘭さんの二人が議長を務めた。

(中学生議会の目的)

公民的分野「地方自治と

住民の権利」の単元の学習

の一貫として、地方議会の

疑似体験を通じて、地方自

治に対して関心を高め、理

解を深める。

◎有害鳥獣被害の防止につ

いて

笠原 慶

◎小さな子どもでも安全に

遊べる場所の設置につい

て

宮坂 あや乃

【質問件名・発言議員名】

◎商業施設の設置について

神谷 岳志

◎病院の設置について

後藤 赫

◎八ヶ岳美術館について

小林 佳乃

◎公共施設などの近くにゴミ箱の設置について

伊藤 直樹



中学生議会で、議長を務めたお二人より、寄稿していただきましたので掲載します。

三年一組 中澤 みなみ

今回、議長という立場で中学生議会に参加させていただきました。議場に入ると、とても緊張しましたが

一番私を緊張させたのは議長の席でした。けれど、議

長の席に緊張しながらも、その緊張の中でこそその良い

経験ができたと思います。

中学生議員に対する一つの

ひとつの丁寧な議員さんの

返答に、とても嬉しく思いました。中学生の意見をこ

こまで真剣に考えて、少しでもより良い方向に向けよ

うと、答弁してください議員さんがいるからこそその議

会。この議会に中学生議員、議長として参加できた私達

8名は幸せ者なんだな、と思います。

中学生議会に議長という立場で参加させていただけなのは、とても良い経験になりました。

三年二組 宮坂 蘭

私は中学生議会で議長をさせて頂きました。実際に

議会室に入り議会を行いました。実際に

した。あのような本格的な場で質問をしたりするのは、

減多に無い事なので、私たちにとって、とても良

い経験になりました。議事の中で思った事は、

議員さんがとても真剣だということです。議員さんは中

学生議員の質問に対して、とても深く考えて下さって

いて、パンフレットなどで分かりやすく説明して下さい。具体的な例を挙げ説明して下さい。一つひとつの質問に対して本当に丁寧に答えて下さっている議員さん達を見て、こんなにも原村の事をしっかりと考えて下さっているんだと思ひ、嬉しかったです。今回の中学生議会での質問や意見が少しも、これからの原村づくりにつながってくれる事を願っています。



中学生議会

議会日誌

10月2日	原村杯争奪ゲートボール大会	11月2日	原村五者懇談会	12月3日	福島県平田村議会文教厚生常任委員会視察研修来村
4日	長野県下救護施設交流会	7月9日	総務産業常任委員会視察研修	3月20日	第4回原村議会定例会
5日	全員協議会	12日	国民健康保険運営協議会視察研修	18日	議会運営委員会
6日	諏訪広域防災講演会	13日	議会委員研修会	23日	こひつじ幼稚園降誕祭
11日	全員協議会	13日	宮城県大郷町議会会派視察研修来村	26日	原村活性化協議会高天酒造視察
13日	富士見高原病院祭	14日	議会報告・懇談会	27日	議会広報編集委員会
15日	平成24年中学生議会	15日	諏訪圏工業メッセ2012		
17日	三重県南伊勢町議会視察研修来村	16日	諏訪中央病院組合議会臨時会		
18日	富士見高原病院新病棟増築工事起工式	21日	諏訪中央病院組合議会監査		
20日	救護施設八ヶ岳寮祭	27日	原村国民健康保険運営協議会		
22日	議会広報編集委員会諏訪郡町村議会議員研修会	28日	議会運営委員会		
23日	社会文教常任委員会視察研修		よいしよまつり祭典委員会		
24日	県町村議会議長会定期総会				
26日	原村農業振興地域整備開発協議会				
27日	長野技能五輪2012諏訪地区併催イベント開会式				

議長交際費

(平成24年1月から12月まで)

期日	金額	内容
1月13日	5,000円	諏訪消防協会新年会 ご祝儀
1月14日	6,000円	公益社団法人 諏訪圏青年会議所新年会 会費
2月13日	15,000円	諏訪地方議会正副議長懇談会 会費
2月24日	2,000円	長野県町村議会議長会第14回定期総会情報交換会 会費
3月28日	5,000円	老人保健施設「みづうみ」竣工式 ご祝儀
4月26日	3,000円	日本禁煙友愛会原支部定期総会 ご祝儀
7月10日	3,000円	核兵器廃絶国民平和大行進 激励金
7月24日	3,000円	アイリス・精明学園・八ヶ岳寮合同納涼祭 ご祝儀
10月1日	4,000円	ニュージーランド・プケコへ来村時お別れの会 お土産
10月17日	2,400円	三重県南伊勢町議会視察研修来村時 お土産

**議会の傍聴に
お出かけください**
次回(平成25年3月)の定例会は
3月1日(金)開会の予定です。
お問い合わせは、議会事務局に(0266-79-7951)

編集後記

寒が明け、日ごとに暖かくなるころとなりました。今朝も寒いねと交わしていた挨拶も、いつしか「寒い」という言葉の出番が少なくなつたと感じます。一寸づつ日脚が伸び、木々の芽も膨らみ始め季節は順繰りに春へとめぐっていきます。

桜前線も春の訪れとともに北上してきます。被災地の皆様にも一日も早く笑顔が戻りますようお願いしています。

「議会だより」は「年4回発行され今回で112号となりました。読みやすい誌面をお届けできるよう頑張ります。皆様のご意見をお寄せください。

(小林 庄三郎 記)

編集委員会
委員長 小林庄三郎
副委員長 小平 雅彦
委員 小池 和男
同 宮坂 早苗
同 鮫島 和美
同 日達 徳吉